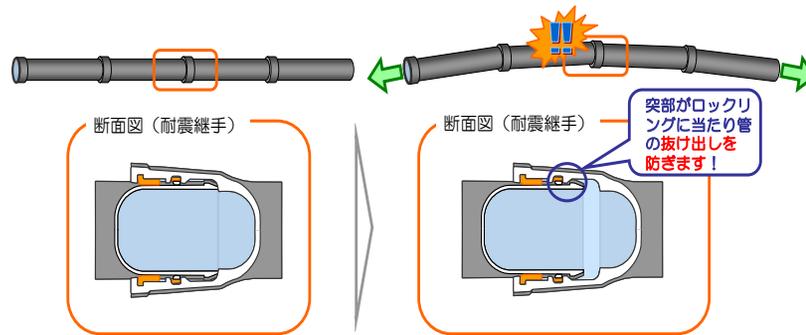


耐震管の布設により、断水を回避する (茨城県神栖市)

耐震性の高い管路を採用



事業者：茨城県神栖市

耐震管の布設工事状況



1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策
最小化するための対策

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

2 予防保全型インフラメンテナンス
への転換に向けた老朽化対策

対策名：70-2 上水道管路の耐震化対策

主たる施策グループ：5-4) 上下水道施設の長期間にわたる機能停止



事業名：水道施設更新事業

- ポイント**
- 老朽化した基幹管路を撤去し、耐震管を布設
 - 管路の耐震性確保による漏水事故・断水の回避

地域の概要・課題

配水場から水を届ける基幹管路の老朽化が進んでおり、地震等により管路に亀裂が生じることで断水につながる恐れがあったため、水道使用者への安全・安心で安定した水を提供するために基幹管路の耐震化に取り組み、災害に強い水道施設の充実を図る必要がありました。

効果

平成23年3月に発生した東日本大震災において、神栖市では液状化による地盤沈下等の被害により、配水管からの漏水が258箇所発生しましたが、震度5弱を観測した千葉県東方沖を震源とする地震（令和5年5月発生）では、事業を実施した地域では、耐震化を図った基幹管路の漏水事故は発生せず、断水も生じませんでした。

事業の概要

老朽化した基幹管路を撤去し、継手に伸縮性があり、地震等による地盤の変位が発生しても、離脱や破損しない構造を持つ、耐震性を有する管路への更新を進めています。

延長：約1,900m
口径：φ200mm～φ400mm
管種：GX形ダクタイル鋳鉄管及び水道配水用ポリエチレン管



東日本大震災被害状況

(1) 3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進
デジタル強靱化に関する施策の

(2) 伝達の高高度化情報予測、収集・集積・